

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

心を合わせ、紡ぎ合った、たくさんの「ありがとう」。  
東日本大震災復興支援ボランティア(第23次)参加報告

9月10日(沖縄出発)～9月17日(沖縄到着)までの期間(現地で活動したのは、そのうち12日～16日の5日間)、被災地(岩手県大船渡市)でのボランティア活動に参加させていただきました。

日教組から派遣された、先達の皆さんの残り香が漂う?旧丑石小学校図書室で寝泊りし、バスで片道2時間かけて、連日被災地に通いました。<地元のあるバス運転手さんは、このベースキャンプを「グランドのあるグランドホテル」と称していらっしゃいました>

私たちの仕事は、漁港地区(大船渡市三陸町綾里)での側溝へドロ出でした。

この地区には頑丈な鉄扉がついた高さ15メートルの防潮堤があります。しかし、あの日。それを優に越える、26メートルの津波が押し寄せ、たくさんの家や人が流されていきました。

そのことを物語るように、ショベルを突っ込むたびに、大量の屋根瓦、「王将」のでかい駒、アスファルト、窓ガラス、漁港で船を係留するのに使う金属製の金具、などなど、普通の側溝では「ありえないもの」が続々と「出土」しました。



沖縄流にいう「ククヌトゥグンジュー」(数え49歳)を迎えた老体には厳しい仕事でしたが、黙々と与えられた仕事(統括班長)をこなしていらっしゃった、私よりひと回り以上年上の、日教組書記の丹野さんや、ムードメーカーの谷内さん(石川県教組)、独特の味を出していらっしゃった「教授」こと斉藤さん(北海道教組)、休憩時間が終わると、誰よりも先に、黙々と仕事に取り掛かっていらっしゃった大嶋さん(岡山県教組)を始めとする仲間たちの頑張りを目の当たりにし、「無理しない程度に、お互いがんばろう」と、心を合わせて目の前の「仕事」にとりくんでいきました。

現地での作業もさることながら、ベースキャンプ(旧丑石小学校)1泊目の、地元経営者(吉野さん)による講演は、「事前学習」として十分に聞き応えのある内容でした。



目の前で渋滞の車列にあった、たくさんの車が津波で流され、中に乗っていた人々が窓ガラスを叩いて助けを求めていたのに何も出来なかった悔しさ、夥しい合板に「プレス」された、それを上回る大量のサンマが発した腐臭に覆われた被災地、避難所やその周りで起こった出来事の数々。

驚きを隠せない内容が多かった講演でしたが、「堤防作りが先か、居住地復興が先か」と問いかけた議員さんには「居住地を復興して、人が行き交えるような環境整備をするのが先決です。いくら立派な鎧(堤防)が出来ても、着る人(居住地に住む人)が痩せ細っていては仕方がない」と毅然と答えたと言ってくれたあたり、地元の方が体験した「事実」の重さを裏付ける、とてもインパクトのある講演でした。

毎日の入浴先(五葉温泉)、そして現場・綾里でも、被災した方々の話を伺う機会がありました。息子たちと五葉温泉に入浴しに来ていたおばあさんは、やはり津波が押し寄せた時の様子を生々しく語ってくださり、「こんな年寄りの愚痴を聞いてくれてありがとう」と、涙を流していらっしゃいました。綾里では、神主さんの家の、足の不自由なお祖父さんと、その介護をしていたお嫁さんが家ごと流されたという町内会長さんの話や、地震の瞬間、とっさの判断で自分の船に乗って沖まで出た漁師さんの苦労話を聞かせていただきました。



現地の方々の声に耳を傾け、思いに寄り添うこと。行き帰りの道すがら、毎日目にした陸前高田の惨状を瞳の奥に焼き付けながらも、改めて、ボランティア活動の「原点」を再確認させていただけた毎日でした。

奇しくも、私たちが岩手入りしたのは、震災からちょうど6ヶ月の9月11日夕刻でした。その翌日、初めて現地入りした頃の、センターの看板表示は「災害ボランティアセンター」。しかし、最終日、その看板にあった「災害」の二文字は、太陽のように赤い「復興」の二文字に替わっていました。厳しい状況の中、被災地の方々が、少しずつ前を向いて歩こうとしているのを、私たちも、日々のふれあいや、そうした看板などを通して、肌で感じることができました。

現地で見たこと、聞いたこと、感じたことを、これから機会があるたびに伝え、私たちに何ができるのか、引き続き考え、行動していけたらと思います。

結びになりますが、「お酒？何でもいいけど…ニッカ」とおっしゃって以来、「ニッカ班長」で親しまれた日教組の丹野さんを始めとする、ともに勤しんだ、それこそ北は北海道から南は沖縄まで、全国からはせ参じた仲間たちと絆を結べた日々に、心から感謝します。本当にありがとうございました。

